新年のご挨拶

皆様　旧年中はひとかたならぬご愛顧にあずかり誠にありがとうございました。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、元旦に能登半島を大きな地震が襲うという悲しい出来事が起こりましたが、証券業界においては、新ＮＩＳＡ制度の開始や東証による市場改革といった前向きなニュースが多くありました。また、日銀が３月に17年ぶりの利上げを決断した一方、米国のＦＲＢが９月に４年半ぶりの利下げを決めるなど、日米の金融政策が大きく転換した年でもありました。日経平均株価は不安材料を抱えながらも史上最高値を更新し、株式市場にとっても歴史に残る１年になったように思います。

干支にちなんだ相場格言によれば昨年の「辰」と今年の「巳」は「天井」です。来年の干支「午」は「尻下がり」ですが、我が国経済では今、物価と賃金の好循環が生まれつつあります。新ＮＩＳＡをきっかけに「貯蓄から投資へ」の流れも一段と加速しており、日本株は今後、「辰巳天井」を超えて継続的に上昇していくでしょう。こうした中で本年が投資家であるお客様全員にとって素晴らしい年になるよう期待しております。

弊社は、今年で創立89周年を迎えます。これはひとえにお客様の永きにわたるご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

今後とも、お客様の大切な資産の運用の良き相談相手となれますよう、従業員一同「お客様満足度」を高めることに誠心誠意努力して参ります。変わらぬご愛顧とお引き立てを賜りますよう、切にお願い申し上げます。

令和７年１月６日

代表取締役社長　鈴木　崇